



JA たきかわ

くみあいだより

2025. 春 Vol.118

たきかわ農業協同組合 第26回 通常総代会



CONTENTS

組合員のかず

正組合員

732名

准組合員

3,554名

総計

4,286名

(3月末日現在)

第26回通常総代会挨拶	JAたきかわ代表理事組合長 山岸 稯	2
第26回通常総代会		2
青年部定期総会／女性部通常総会／滝川市農民協議会定期総会		3
ICT協議会講習会、通常総会／令和6年黒毛和種去勢牛の部受賞		4
スノーメッセージ／パレット返却について		4
令和7年度水稻管理作業のポイント		5
秋まき小麦の栽培		6
JAたきかわ機構図		7
JAたきかわサービス機構図		8
農業資金のご案内		9
JA共済のご案内		10
第7回東野ひでき／職員の動向について／新入職員の紹介		11
第8回東野ひでき／出資金について		12
理事会だより／組合員の皆様へのお知らせ		13
ATMのご案内／資材部土日祝日営業案内		14



ホームページQR



Facebook QR



菜の花館QR

発行／編集：たきかわ農業協同組合 営農部 農業経営課
滝川市本町4丁目1番31号 ☎代表(0125)22-3401

第26回通常総代会挨拶



たきかわ農業協同組合

代表理事組合長

山 岸 穰

第26回通常総代会に出席頂きました総代の皆様ありがとうございます。また日頃より、農協事業にご協力を頂いております事にお礼申し上げます。

昨年の農畜産物の状況は、一年を通して比較的穏やかな天候であったことから、概ね豊作の年になりました。水稲は作況指数103の「やや良」となり、品質は低タンパク米も平年より多い年になった中、米穀合計では193、004俵の集荷実績となりました。うるち米の異常高値により、商系と系統概算金との価格差が開き、JA集荷は非常に厳しいものになりましたが、そのような中でも出荷いただきました生産者の皆様に御礼申し上げます。小麦は、穂数が平年並みに確保され順調に進み、収穫期においても大きな倒伏の発生は見られず順調に進みましたが、「なまぐさ黒穂病」、「赤さび病」の発生もあり、品質の低下が一部で見られました。小麦全体では54、993俵の取り扱いはになりました。菜種は「ペノカのしずく」へ品種切り替えした年になりましたが、従来品種と遜色のない実績となりました。大豆は、開花期以降の気温が高く経過し、適度な降水量であったことから、収量と品質も良い実績となりました。園芸作物は、高温障害の発生はありませんでした。作付面積が減少した品目もあり、取り扱い数量は計画を下回る実績となりましたが、市況が高値で推移したことから、取扱

高では計画を上回りました。酪畜は、生乳頭数が減少しましたが、夏場の乳量が大きく落ち込まなかった事や乳価回復もあり、計画を上回る実績となりました。牛肉では、出荷頭数が減少したこと、市況価格が低調で推移したため販売価格が減少しました。

令和2年産の共計費用の処理につきましては、8月末で承諾を頂き、11月に処理する事が出来ました。ご理解を頂きありがとうございます。

本年の事業につきましては、当期剰余金1億2千2百万円、当期末処分剰余金1億9千4百万円の実績となりました。子会社のJAたきかわサービスの当期純利益は2千4百万円となりました。本年度の計画では、滝川バラ化施設小麦調製ラインの更新に2億8千5百万円、議案にもありますが芦別給油所の改修9千3百万円、江部乙給油所買取8百万円の固定資産取得を計画しています。この様な状況の中、毎年組合員の減少により出資金が1年間で、4千万円から5千万円ずつ減り続けております。固定資産の取得、修繕に当たつての自己資本の強化のためにも出資金の増口をお願いしてまいります。また、これまで総合農協として部門間収支を補ってきたところですが利益の確保が出来ていた部門の事業利益の見込みが厳しくなっております。事業利益を安定的に確保していくことが必須のものであり営農賦課金の見直しについて、翌年度、総代会の議案提出に向けて協議を進めてまいります。本年はJA第9次3カ年計画の2年目であり組合員の「農業所得の向上」に向けた取り組みと、事業利益の安定的な確保が大きな柱であります。これからの農業情勢は大きく変わって

いく事が予想されます。行政・関係機関との連携のもと事業を進めて参ります。今後とも組合員皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い致します。最後に今年の秋の豊穰と組合員皆様のご健勝をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

第26回通常総代会

4月8日(火)午後1時30分よりホテル三浦華園にて、第26回通常総代会が開催されました。

総代総数169名のうち出席総代数は136名となりました。136名の内訳として、本人出席71名、書面議決63名、委任状2名。

開催宣言、JA網領朗唱、組合長の挨拶の後、議長選任が行われました。議長選任では、仮議長である山岸組合長が、佐々木智康総代(滝川地区)、吉本政史総代(赤平地区)両名を指名しました。

その後、議長の取り進めにより議事に入り、議案第1号から第8号まで、原案通り可決決定となりました。



議長 佐々木智康氏／吉本政史氏

JAたきかわ青年部 第27回 定期総会開催

1月14日（火）に当JA本店にて第27回JAたきかわ青年部定期総会が開催されました。杉本章悟部長の挨拶、来賓祝辞、協議内容へとスムーズに進行し、すべての議案が原案通り承認されました。また、役員の改選が行なわれ、新部長には上野将大さん（滝川支部）、新副部長には佐野天志さん（芦別支部）が選任されました。上野新部長より、「今年中は空知青年部の当番JAとなっており、本部としての活動がたくさんある1年となりますが頑張っていきたいと思います。」と挨拶をされました。

◆令和7年度役員

参 部	副 部	監 部	監 部	監 部
与 事	事 長	事 長	事 長	事 長
杉 伊	宮 平	田 澤	宮 平	伊 野
本 藤	寛 湧	寛 湧	寛 湧	寛 湧
章 人	稀 大	稀 大	稀 大	稀 大
悟 人	稀 大	稀 大	稀 大	稀 大
（芦別支部）	（滝川支部）	（滝川支部）	（滝川支部）	（滝川支部）



JAたきかわ女性部 第26回 通常総会開催

2月6日（木）当JA広域営農センターにて、JAたきかわ女性部第26回通常総会が役員を含む18名の出席により開催されました。高見晴美部長の挨拶から始まり山岸組合長の挨拶、協議事項へと進行しすべての議案が承認されました。役員改選が行われ新部長には向井紀子さん（赤平支部）が選任されました。

総会終了後は、家の光記事を活用して「手芸スマホストラップ作り講習会」を開催しました。ピンク・ライトブルー・イエローの3色からそれぞれ好きな色を選んで編んでいきます。なかなか思うように編めずに初めは苦戦しましたが、教え合いながら協力し慣れてくるとすいすい編み進めることができました。

◆令和7年度役員

監 部	副 部	監 部	副 部
事 計	長 向	事 計	長 向
藤 佐	渡 井	藤 佐	渡 井
田 藤	邊 紀	田 藤	邊 紀
洋 子	子 子	洋 子	子 子
（江部乙）	（赤平）	（江部乙）	（赤平）



滝川市農民協議会 第28回 定期総会開催

3月10日（月）当JA広域営農センターを会場に、滝川市農民協議会の第28回定期総会が開催されました。開会にあたり、川本圏太委員長から「今年の米価については政府の備蓄米21万トンの放出に伴う米の買い占め、悪質な転売により値崩れを起す前に一斉販売することは容易に予想され、これらが価格形成にどの様に影響するかは未知数である。また、水田活用の直接支払交付金を巡り、5年に一度の水張りを求める方針を見直す考えを表明し、見直し内容がさらに見直される可能性もあり二転三転する政策には生産現場で混乱を招くなど多くの課題が山積みとなっている。これらに対して農家の利益となるよう、関係機関と連携し運動していかねばならない。」と挨拶されました。

総会の議事としては、活動経過報告を含む5議案と、特別決議1案が提案されすべて承認され終了となりました。



◆令和7年度役員

委員 長	川 本 圏	委員 長	川 本 圏
副委員 長	山 木 傑	副委員 長	山 木 傑
副委員 長	新 堂 誠	副委員 長	新 堂 誠
書記 長	根 守 浩	書記 長	根 守 浩
書記 次長	工 藤 幸	書記 次長	工 藤 幸
書記 次長	伊 藤 志	書記 次長	伊 藤 志
代表 監事	佐々木 智	代表 監事	佐々木 智
監 事	堀 義 和	監 事	堀 義 和
監 事	朝 倉 雄一	監 事	朝 倉 雄一
	（江部乙）		（江部乙）

滝川市ICT農業利活用協議会 講習会、第7回通常総会開催

3月13日（木）当JA本店2階大会議室にて滝川市ICT農業利活用協議会講習会・第7回通常総会が開催されました。

講習会では株式会社サングリーン太陽園様よりサン greening グループでの取り組み紹介、またドローンを中心としたスマート農業についての説明を受け会員との意見交換を行いました。講習会の後、総会が行われ事業報告を含む議案第1号から第4号まで承認され閉会をしました。



令和6年黒毛和種去勢素牛の部受賞

令和6年黒毛和種去勢素牛の部で滝川地区の由桐正康さんが4月市場に出荷しました第

659由桐が年間約1万頭以上の中から年間最高価格として選出され受賞となりました。この受賞は由桐さんの日頃からの牛群改良や、飼養技術また先進的な目をもった府県からの外部導入等、畜産農家として長年の努力の賜物であります。また平成21年に北海道家畜市場が白老町から安平町への移転後初の受賞となりました。このたびは誠に受賞おめでとうございます。



スノーメッセージ作成

2月22日（土）に広域営農センター駐車場にてJA空知青年部連合会の事業であるスノーメッセージを作成いたしました。テーマは「今

日のありがとが、未来の笑顔をつくる。」となっておりま。JAたきかわのマスコットキャラクターである米美ちゃんがありがとうの芽を育てているイメージで作成しました。



パレット返却について

（資材部からのお知らせ）

当JAより、肥料・培土等を配送の際に使用しているパレットは、肥料メーカー各社からの貸出パレットもしくはJA保有のパレットの為、速やかな返却が求められます。

また、メーカー各社へ返却がなされない分のパレット代金を当JAが負担している現状であります。

肥料メーカー各社の木製パレット及びJ Aプラスチックパレットは、必ずJAまで返却されますようお願い申し上げます。

尚、ご自身で持参不可の場合は、JAより回収にお伺い致しますので、各資材店までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和7年水稻管理作業のポイント

移植深に注意

- 田植え時の **適正移植深は1.5～2.0cm**です。第1葉の付け根が田面から出ているか確認をしながら移植しましょう。
大苗や強風時は特に注意が必要です。
- 深植えになると生長点付近の温度が低く、**初期の莖数確保**が劣ります。



写真 移植深により分げつの発生に大きな差が生じる（同一農家での事例）

根の活力向上のために

- 近年は生育期間中が高温傾向かつ、
多収によってより多くの稲わらがすき込まれていることから、
「ワキの発生」が目立っています。
- 晴天が続く気温の高い時期を狙って、幼穂形成期までに
中干しを実施しましょう。
- ただし、極端な低温・強風時には中干しは控え、
分げつが少ない場合は水の入れ替えで対応しましょう。

還元状態で弱った根の活性化
田面の引き締め効果

良好な登熟の維持
白未熟粒の減少
倒伏防止効果



中干しの目安は
小ヒビが入る程度まで



溝切りとセットで
実施すると効果的！

＜秋まき小麦の栽培＞

1 追肥について

幼穂形成期、止葉期の窒素施肥量は起生の茎数に応じ、下表のとおりです。

ただし、倒伏の危険がある茎数の場合は追肥を控えましょう。

茎数が倒伏の危険を大きく超える時は、次の項目にある倒伏軽減剤の使用を検討しましょう。

起生の茎数(本/㎡)	起生期	幼穂形成期	止葉期
1,000 本/㎡以上	0 ^(注)	6	4
800～1,000 本/㎡	2	4	
800 本/㎡未満	6	4	

注) 幼穂形成期前に葉色が急に褪めたら、その時点で追肥する。

図1 窒素分施肥時期と効果

項目	起生期 (4月中旬)	幼穂期 (5月上旬)	止葉期 (5月下旬)	出穂期 (6月上旬)
穂数				
1穂粒数				
千粒重				

2 倒伏軽減剤について

倒伏の危険がある場合は早めに対応しましょう。幼穂形成期から散布が可能です。

薬剤	使用時期	10a 当り使用量	使用回数	注意事項
サイコセルPRO	幼穂形成期	150～200mL	1	水 100L
	出穂前 20～10 日	200～300mL	1	水 100L、草丈 40～60cm
エスレール10	止葉期～出穂始期	200～333mL	1	水 100L
カルタイムフロアブル	止葉期～出穂 5 日前	150mL	1	水 100L

3 雑草と除草剤について

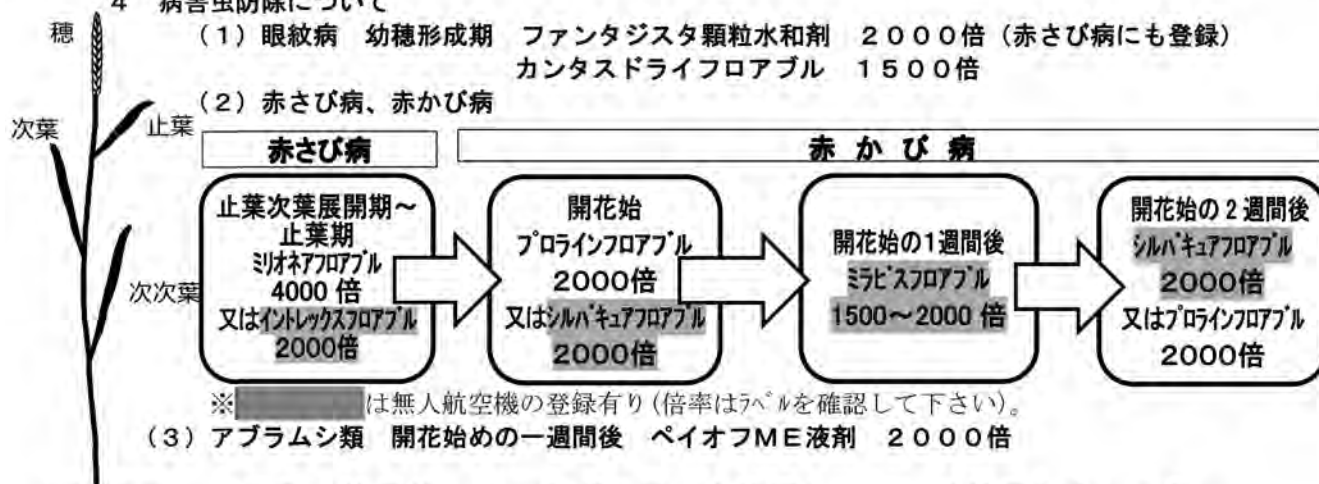
除草剤	主な対象雑草	使用時期	10a 当り使用量	使用回数	注意事項
エコパートフロアブル	シロサ [※] 、タテ [※] 類、ハコベ [※]	雑草発生始期 (止葉抽出前まで) (収穫 45 日前まで)	50～75mL	2	展着剤は加用しない、薬害の恐れがあるので、小麦止葉抽出前までに散布する。
バサグラン液剤	タテ [※] 類、ハコベ [※] 、ナスナ、スカシゴボウ等	麦の幼穂形成期 (春生えのみ) (収穫 45 日前まで)	100～150mL	1	散布後の降雨は効果が劣るので、好天の続く見込みの時期に散布する。
MCP ソーダ塩	シロサ [※] 、ハコベ [※] 、ナスナ、スカシゴボウ等	麦の幼穂形成期 (収穫 45 日前まで)	300g	1	日中の気温が 20℃以上の好天日を選び散布する。
ハーモニーDF ^(注)	シロサ [※] 、タテ [※] 類、ハコベ [※] 等 ^(注)	麦の幼穂形成期 (収穫 45 日前まで)	7.5～10g	1	イヌカミツレに有効。使用後は必ず散布器具を専用の洗浄剤でよく洗浄する。

注) ハーモニーのキシキシ類は 10a 当たり使用量 3～5g。

4 病害虫防除について

(1) 眼紋病 幼穂形成期 ファンタジスタ顆粒水和剤 2000 倍 (赤さび病にも登録)
カンタスドライフロアブル 1500 倍

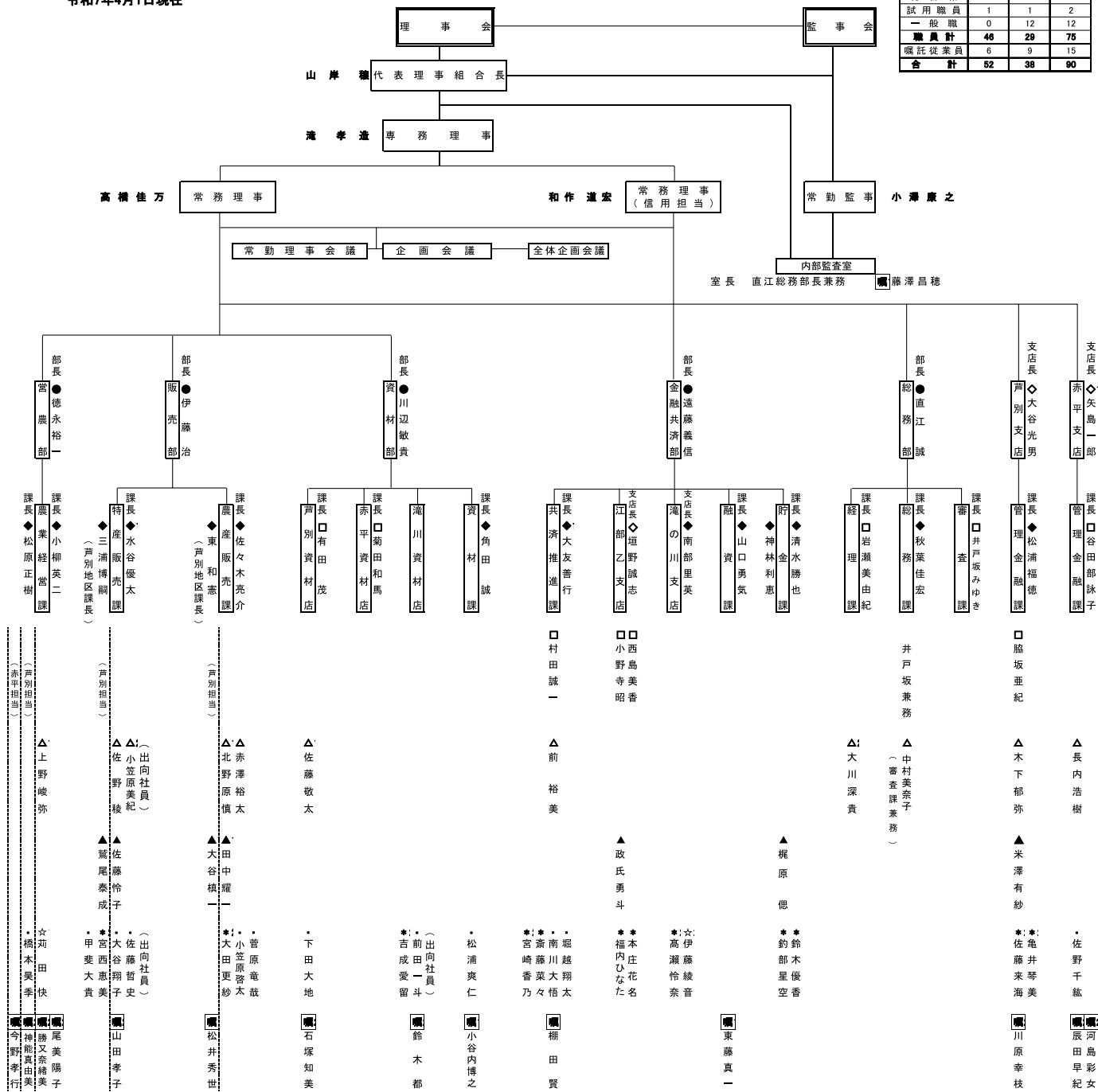
(2) 赤さび病、赤かび病



小麦の葉位 ※農薬の使用前には、必ずラベルを確認し、正しく使用しましょう。

た き か わ 農 業 協 同 組 合 業 務 機 構 図

令和7年4月1日現在



職位別表

○參 事 役 0	●審 議 役 5	◇審 査 役 3	◆考 査 役 14	□調 査 役 9	△主 幹 11
男 0	男 5	男 3	男 12	男 4	男 7
女 0	女 0	女 0	女 2	女 5	女 4
▲主 査 7	・ 係 12	☆試 用 職 員 2	* 一 般 職 12	◻囑 託 従 業 員 15	
男 4	男 10	男 1	男 0	男 6	
女 3	女 2	女 1	女 12	女 9	

農業資金のご案内

JAフルスペックローン

農機具・ハウスの取得等にご利用いただけます

対象者 ● 農業を営むJAの正組合員の方で、その他一定の条件を満たす方

資金使途

- 農機具の購入（中古農機含む）、点検・修理、車検等費用
- パイプハウス等資材、建設費用
- 格納庫建設、取得、増改築費用
- 他金融機関からの農機具ローン借換
- 発電・蓄電設備（中古設備含む）の取得に必要な資金

借入期間 ● 1年以上15年以内（据置2年以内）
※資金使途によります

借入限度額 ● 事業費の範囲内

JA農業経営ステップアップローン

農地取得から運転資金まで幅広い用途にご利用いただけます

対象者 ● 農業を営むJAの正組合員の方で、その他一定の条件を満たす方

- (1) 農業経営に必要な設備資金
- 農地等の取得、改良、造成、復旧
 - 農業経営のための施設や機械の取得
 - 加工処理・流通販売施設等の取得

資金使途

- (主なもの) (2) 農業経営に必要な中長期運転資金
- 肥料、農薬、資材等の購入
 - 家畜の購入、育成費用等

借入期間 ● 25年以内（据置5年以内）
※資金使途によります

借入限度額 ● 事業費の範囲内

5年間 1.0%のJAバンク利子補給により

JAフルスペックローン（借入期間7年以内の場合）

固定金利

年 **2.30%** ⇨ 年 **1.30%** ※6年目以降は通常金利（2.30%）となります。

JA農業経営ステップアップローン（農地取得で借入期間15年以内の場合）

固定金利

年 **1.80%** ⇨ 年 **0.80%** ※6年目以降は通常金利（1.80%）となります。

詳しくは農業融資担当者またはJA窓口担当者にお尋ねください

- ◆ 4月1日現在の金利となります。また金利は借入期間、資金使途により異なります。
- ◆ ご返済は元金均等 年1回返済（毎年11月30日）です。
- ◆ 農業信用基金協会の保証契約が必要となります。（保証料率 年0.4%）
- ◆ 融資実行までに時間を要するものもございますので、お早めのご相談をお願いします。

農業者の皆さまへ

農業を取り巻く

JA共済

2つのリスクに備えられていますか？

賠償責任のリスク

農業に伴う賠償責任リスク

農薬散布中に…
隣接する畑に飛散し、
玉ねぎが生育不良と
なった。損害賠償額例
約**510万円**借用したロータリーで
作業中に…
圃場ののり面に衝突し、
ロータリーを破損
させた。損害賠償額例
約**30万円**出荷した
生産物が…
小麦にソバが混入して
おり、販売先から賠償
金が請求された。損害賠償額例
約**220万円**

JA共済連調べ

農業に伴う
賠償リスクに
備えるには…

ご契約例

支払限度額 5,000万円コース
農地面積 4ha以上20ha未満

共済掛金

年間**21,010円**

日常生活に伴う賠償責任リスク

自転車の事故

子どもが公園で自転車を
運転していたところ、誤っ
て前にいるご年配の方に
衝突し、重傷を負わせた。支払共済金
約**1,295万円**

飼い犬の事故

飼い犬が散歩中に、他
人を噛んでケガを負
わせた。支払共済金
約**37万円**

除雪中の事故

自宅敷地内で手押しの除
雪機で除雪中に、操作を
誤り、駐車していた他人の
自動車に損害を与えた。支払共済金
約**23万円**

JA共済連調べ

日常生活に伴う
賠償リスクに
備えるには…

日常生活賠償責任特約

支払限度額 **2億円**示談交渉サービス付
家族全員が保障対象※1

共済掛金

年間**1,890円**※1 記名被共済者本人、配偶者、同居の親族、別居の未婚の子などが保障対象となります。
※本特約は自転車共済に付帯できる特約となります。

ケガのリスク

草刈り作業中に草刈り
機の操作を誤り、脚を
切って入院 (筋の損傷)治療共済金額
5,000円×40倍支払
共済金 **20万円**脚立でビニールハウス組立
作業中にバランスを崩して
転倒し、腕を骨折して入院治療共済金額
5,000円×35倍支払
共済金 **17.5万円**あぜ道で作業中に足を
捻って捻挫し5日通院治療共済金額
5,000円×5倍支払
共済金 **2.5万円**

農作業中のケガのリスクに備えるには…

普通傷害共済

ご契約例 [1被共済者につき]

部位・症状別治療共済金額:5,000円、
死亡共済金額:500万円、共済期間1年、
年齢80歳以下、職業:農業、被共済者数1~9人

交通事故をはじめ、日常生活のケガのリスクも保障されます！

共済
掛金 年間**16,000円**

安心して農業を営んでいただくためにも、農業を取り巻く2つのリスクに備えておきましょう！

【農業者賠償責任共済】お支払いには所定の条件があります。【日常生活賠償責任特約】住宅以外の不動産の所有、使用または管理を除きます。【傷害共済】職種により加入の制限があります。年齢により引受金額等の制限があります。共済掛金は全て令和7年4月時点。※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせ先

JAたきかわ

本店 TEL0125-22-3401 江部乙支店 TEL0125-75-2221
赤平支店 TEL0125-32-2007 芦別支店 TEL0124-23-1111

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出し、いかに多くの票数を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

過去の参議院選挙（比例代表）

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

問われる組織力

このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数が分かります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることになります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。

郵政グループとJAグループ得票数の推移



自民党 全国比例区 得票数順位 (2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	柘植芳文
2. (漫画など)	54万票	山田太郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊男

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会



JAたきかわ 新入職員のご紹介

①生年月日 ②出身校 ③趣味・特技 ④抱負



営農部農業経営課

かり た かい
菊 田 快

- ①平成17年1月26日
- ②國學院大學北海道短期大学部
- ③サッカー、サウナ
- ④短大生活の2年間で学んだことを活かして少しでも早く仕事に慣れ積極的に挑戦していきたいです。周りへの感謝の気持ちを忘れずに働きます。



金融共済部（滝の川支店）

い とう あや ね
伊 藤 綾 音

- ①平成16年12月24日
- ②國學院大學北海道短期大学部
- ③音楽鑑賞
- ④地域の発展に貢献できるよう努めます。積極的に学び、信頼される職員を目指して成長していきます。新たな環境での挑戦を楽しみながら、一つひとつの経験を大切にしていきます。

職員の動向について

●退職者（令和7年3月31日付）

総務部経理課 課長
販売部販売施設課 課長
金融共済部 共済推進課 課長
金融共済部 融資課 課長

土古高 高
橋市木 橋
大拓悠 協
和人希 子

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

最終回「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について

JAグループの声を!

JAグループの農政運動の目的は、「農政(農業・農村・農協政策)」にJAグループの声を反映させて、生産現場の課題解決を図ることです。そのため、農政を決定する政府・与党の中に、農業・地域・JAグループへの理解者を増やすことが農政活動の強化につながります。

組織力の結集を!

JAグループの様々な事業に対し措置されてきた予算・税制等の政策支援は、これまでの農政運動を通じて確保してきたものです。これらの政策支援を維持・発展させるためには、JAグループが団結して農政運動を行うことが必要です。組合員や役員一人一人の力は小さいですが、組織としてまとまることで“力”となります。

農政活動の強化に向けて!

国民への食料の安定供給、環境との調和、組合員の所得増大、農業・農村の持続的発展等に向けた生産現場の課題解決のために、今こそ我々JAグループの組織力の発揮が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、全8回連載いたしました。

働きかけと支援を!

農業の実情を知る議員がいることによって、政府・与党内に農業現場の実情を伝えることが可能となります。そのため、JAグループの声を代弁し、政府・与党に積極的な働きかけを行う議員に対して、組織でまとも、活動を支え、連携することが、政策実現のカギとなります。

我々の代表を!

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

出資金の増口をご検討ください

日頃より、JAの事業をご利用いただき、誠にありがとうございます。

近年、正組合員の脱退に伴い、JAたきかわ全体の出資金残高が急激に減少しております。出資金は、組合員の願いを形にするために、組合員一人ひとりが持ち寄る資金です。事業を運営するための基礎となり、JAの様々な事業は、この出資金を元手として展開しています。

JAの将来の事業活動資金として、組合員の皆様に出資金の増口をご検討いただきたく、お願い申し上げます。詳しいお問い合わせは、本店(0125-22-3401)総務課 中村他、各支店の出資金担当者までご連絡ください。

	出資口数(正組合員)	正組合員の出資金残高
令和2年度末	634,578口	1,269,156,000円
令和3年度末	614,232口	1,228,464,000円
令和4年度末	604,585口	1,208,464,000円
令和5年度末	585,326口	1,170,652,000円
令和6年度末	554,729口	1,109,458,000円

理事会だより

第13回理事会

令和6年12月26日(木)

決議事項

1. 役員(理事・監事)と組合の取引基準について
2. 役員報酬審議委員の選任について
3. コンプライアンスマニュアルの改定について
4. 収支シミュレーションについて
5. 出資の譲渡・減口について
6. 令和6年度の不動産(農地)評価基準について
7. 内部監査計画の承認について
8. 資金の貸付について
9. 農産物の共計精算について
10. 信用事業方法書の一部変更について

協議事項

1. 期末決算実地棚卸の立会について

第14回理事会

令和7年1月27日(月)

決議事項

1. 理事との取引の承認について
2. 令和7年度役員報酬額の諮問について
3. 決算見込みについて
4. 一時金の支給について
5. 出資の減口について
6. 資金の貸付について

第1回理事会

令和7年2月7日(金)

決議事項

1. 令和7年度事業計画及び収支予算(案)の設定について

第2回理事会

令和7年2月21日(金)

決議事項

1. 定款、定款付属書、規程の一部変更について
2. 令和7年度の貸付金利率の最高限度について
3. 令和7年度の信用供与等の最高限度について
4. 令和7年度の余裕金の運用方針及び預け入れ先について
5. 税効果積立金の取り崩しについて
6. 子会社損失引当金戻入について
7. 令和6年度事業報告及び収支決算の承認について
8. 令和6年度剰余金処分(案)について
9. 出資の譲渡・減口について
10. 不良債権の処理方針について
11. 営農貯金設定要領の一部変更について
12. 農産物の共計精算について
13. 資金の貸付について

第3回理事会

令和7年3月7日(金)

決議事項

1. 令和6年度決算の承認について
2. 第26回通常総代会の開催について
3. 芦別給油所改修工事の施工方法について
4. 芦別給油所の指名競争入札に係る入札業者の指名について

協議事項

1. 地区別懇談会について

第4回理事会

令和7年3月21日(金)

決議事項

1. 令和6年度期末監査に対する監査結果報告

組合員の皆様へのお知らせ

組合員の皆様の住所・氏名・電話番号・組合員資格について変更があった場合は、所定の手続きが必要になりますので本店・各支店総務課までご連絡下さい。

連絡先

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| ●本店総務課 | (滝川・江部乙担当/中村) | ☎0125-22-3401 |
| ●赤平支店管理金融課 | (赤平担当/谷田部) | ☎0125-32-2007 |
| ●芦別支店管理金融課 | (芦別担当/米澤・松浦) | ☎0124-23-1111 |

2. ならびに監査報告について
3. 育児および介護休業規程の一部変更について
4. 出資の減口について
5. 資金の貸付について

令和7年度 G.W期間ATM稼働表

金融機関名		お取引内容	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日
			木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日
					憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	
JAたきかわ	本店	入出金	AM8:30~PM6:00		休業				AM8:30~PM6:00
	滝の川支店	入出金							
	赤平支店	入出金							
	江部乙支店	入出金							
	芦別支店	入出金							
ゆうちょ銀行		入出金	AM8:45~PM7:00		AM9:00~PM5:00				AM8:45~PM7:00
コンビニATM		入出金	AM8:00~PM10:00		AM8:00~PM9:00				AM8:00~PM10:00

※ゆうちょ銀行、コンビニは手数料がかかります。

資材部より組合員の皆様へお知らせです

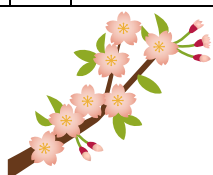
平素より、当資材部をご利用いただき誠に有難うございます。

つきましては、春の繁忙期、土・日曜・祝日営業を下記のとおり行いますので是非ご利用下さい。

赤平資材店においては、休日の日もありますのでご了承下さい。

令和7年度 春の土曜日・日曜日・祝日営業案内

月	日	曜日	生産資材センター	江部乙倉庫	赤平資材店	芦別資材店
4	19	(土)	8:30~12:00 (半日営業)	8:30~12:00 (半日営業)	8:30~12:00 (半日営業)	8:30~12:00 (半日営業)
	20	(日)			8:30~12:00 (半日営業)	
	26	(土)			8:30~12:00 (半日営業)	
	27	(日)			休 日	
	29	(火) 昭和の日			休 日	
5	3	(土) 憲法記念日	8:30~12:00 (半日営業)	8:30~12:00 (半日営業)	8:30~12:00 (半日営業)	8:30~12:00 (半日営業)
	4	(日) みどりの日			休 日	
	5	(月) こどもの日			休 日	
	6	(火) 振替休日			8:30~12:00 (半日営業)	
	10	(土)			8:30~12:00 (半日営業)	
	11	(日)			休 日	



生産資材センター TEL 0125-23-1333
 赤平資材店 TEL 0125-32-2007
 芦別資材店 TEL 0124-23-1111

